

1 教室環境チェック (改善されていると思う項目に○)

担任 (古川 貴美)

教室環境改善	
1 基本的な清掃と整理整頓がされているか?	○
2 安全への配慮がされているか?	○
3 感覚刺激への配慮がされスッキリしているか?	○
4 学級や授業で大切にしていることが見て分かるか?	
5 生活や学習の見通しや動線が見て分かるか?	○
6 必要な学習の成果や掲示が適宜されているか?	○
7 掲示の場所や方法にルールはあるか?	

2 学級の実態

- ・身辺処理については、部分的な支援を必要とする。
- ・言葉での簡単な指示を理解し、写真や身振りなどの視覚的な情報を手掛かりにして行動することができる。
- ・繰り返しの学習や経験の積み重ねにより、ある程度見通しをもって取り組むことができるが、新しい学習や突然の環境の変化にスムーズに対応することが難しい場面がある。
- ・教室内を走ったり、床に寝そべったりして遊ぶことが多い。



3 特に工夫している部分

- ・絵や写真を用いることで、情報を分かりやすく提示している。
- ・活動スペースを広く設け、安全に活動できるようにしている。

4 改善の経緯 (1) 5月頃の教室環境とその頃の児童生徒の様子



- ・1日の予定表に貼ってある天気カード等を手に取ったり、場所の写真カードを指差したりする。
- ・休み時間等は、教室内で遊ぶことが多い。

改善のポイント!!

- ・絵や写真などの視覚的な情報を増やすことで、1日の予定をより分かりやすくする。
- ・絵や写真を自分の意思を伝える手段として使用できるようにする。

(2) 12月現在の教室環境とその頃の児童生徒の様子



- ・学習の絵カードや名前カードに関心を持ち、絵を動作で示したり、名前カードを見て発声したりする様子が見られるようになった。
- ・自分が遊びたい場所を写真カードや「いってきます」カードで伝えようとするようになってきた。

今後の改善などについて

- ・活動スペースは、不必要な物を置かず、現在と同様に広く設ける。
- ・児童が活動への見通しをもったり、意思を伝えたりするための教材等が適所に配置されているかを見直す。